

二二二一番

妹が紐いもひも 解くと結とむすびて 竜田山たつたやま 今こそもみち
そめてありけれ

二二二二番

雁がねかりの 寒さむく鳴なきしゆ 春日かすがなる 三笠みかさの山やまは
色付いろづきにけり

二二二三番

このころあかときつゆの 曉露あかに 我わがやどの 秋あきの萩原はぎはら
色付いろづきにけり

二二二四番

夕ゆふされば 雁かりの越こえ行ゆく 竜田山たつたやま しぐれきほに競きひ
色付いろづきにけり